



徳島大学生物資源産業学部

Faculty of Bioscience and Bioindustry, Tokushima University

GUIDEBOOK

2019-2020



生物資源産業学部

Faculty of Bioscience and Bioindustry

生物資源産業学科

Department of Bioscience and Bioindustry

平成 28 年 4 月 新設

Established in Apr. 1, 2016

CONTENTS

学部長あいさつ.....2

Message from the Dean

学部概要

Overview of Department

沿革.....3

History

組織.....4

Organization

学生数.....6

Number of Students

国際交流.....6

International Exchange

キャンパス・附属施設紹介.....7

Campus and Affiliated Institutes

学部紹介

Introduction of Department

アドミッション・ポリシー.....9

Admission Policy

カリキュラムの特長.....10

Curriculum

入試情報.....11

Admission Information

各コースの特長.....13

Course

卒業生の進路.....16

Career Paths after Graduation

取得できる資格・受験資格.....17

Licenses

アクセス.....18

Access





生物資源の探究

生物資源産業学部は、平成28年4月に徳島大学では30年ぶりに設置された新学部です。これまでの農学系学部とは異なり、「産業」という言葉が入っています。生物資源を巧みに活用し、新しい産業の創出につながる研究の推進と、その担い手となる人材の育成を進めています。生物資源は、農林畜水産業の一次産品、微生物、培養細胞等の多岐にわたり、食糧、医薬品原料、エネルギー源等として、人々の生活に欠かせないものです。また、生物資源には未だ見出されていない優れた機能や成分が存在していると考えられ、大きな可能性を秘めた資源であると言えます。

しかし、一次産業の後継者不足や国際競争力の低下など、生物資源に関する産業は多くの問題も抱えています。そのため、一次産業を持続可能な成長産業とすることが必要です。また、一次産業を支える労働者の環境は充分とは言えず、地域の過疎化の要因の一つになっています。この点においても、地域資源の活用により地域から世界へ貢献する新産業の創出が求められています。

2015年のニューヨーク国連本部における「国連持続可能な開発サミット」で、17の目標からなる持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals: SDGs）が採択されましたが、その中には、(1) 飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する (2) 持続可能な消費と生産のパターンを確保する (3) 海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する (4) 陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理等の目標があり、本学部の目指す目標は人類の幸福と安寧に繋がる重要なものと言えます。

本学部では、前述の目標を達成するため、バイオサイエンス、フードサイエンス、アグリサイエンス等の先端技術に加えて、経済学、経営学、知的財産、商品開発等の科目編成により、生物資源から新しい食糧・医薬品等の開発・事業化を目指した人材育成を進めています。そのためには、学内の連携はもとより、国、自治体、企業との連携が必須であり、何卒ご支援の程、お願い致します。国土が狭く資源の少ない日本は、科学技術立国として人材こそが日本の将来を支える原動力です。教職員一丸となって、しっかりとした教育研究を進めてまいります。

徳島大学生物資源産業学部長

横井川 久己男

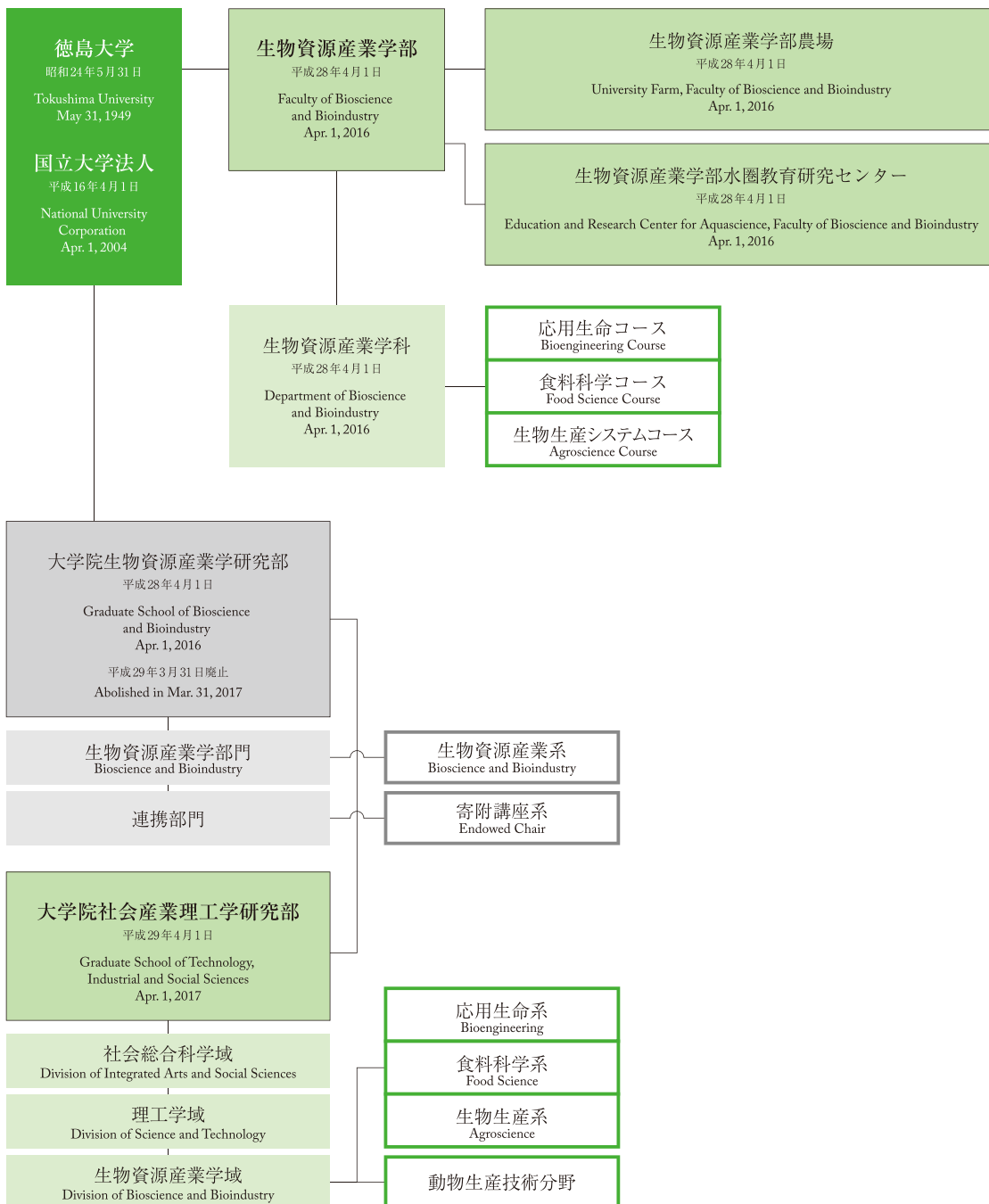
沿革 History

生物資源産業学部

大学院社会産業理工学研究部生物資源産業学域

Faculty of Bioscience and Bioindustry

Division of Bioscience and Bioindustry, Graduate School of Technology, Industrial and Social Sciences



組織 Organization

生物資源産業学部

Faculty of Bioscience and Bioindustry

学部長 横井川 久己男
Dean Kumio YOKOIGAWA

副学部長 長宗 秀明
Vice Dean Hideaki NAGAMUNE

		教授 Professors	准教授 Associate Professors	講師 Lecturers	助教 Assistant Professors	
生物資源産業学部 Faculty of Bioscience and Bioindustry Department of Bioscience and Bioindustry	生物資源産業学科 Bioengineering Course	応用生命講座 Bioengineering	宇都 義浩 Yoshihiro UTO 長宗 秀明 Hideaki NAGAMUNE 中村 嘉利 Yoshitoshi NAKAMURA 松木 均 Hitoshi MATSUKI	浅田 元子 Chikako ASADA 玉井 伸岳 Nobutake TAMAI 友安 俊文 Toshifumi TOMOYASU 湯浅 恵造 Keizo YUASA	岸本 幸治 Koji KISHIMOTO 白井 昭博 Akihiro SHIRAI 田端 厚之 Atsushi TABATA 山田 久嗣 Hisatsugu YAMADA	鬼塚 正義 Masayoshi ONITSUKA 後藤 優樹 Masaki GOTO
	食料科学コース Food Science Course	食料科学講座 Food Science	金丸 芳 Kaori KANEMARU 櫻谷 英治 Eiji SAKURADANI 田井 章博 Akihiro TAI 田中 保 Tamotsu TANAKA 横井川 久己男 Kumio YOKOIGAWA	赤松 徹也 Tetsuya AKAMATSU 川上 竜巳 Ryushi KAWAKAMI 佐々木 千鶴 Chizuru SASAKI 向井 理恵 Rie MUKAI 山本 圭 Kei YAMAMOTO		阪本 鷹行 Takaiku SAKAMOTO 林 順司 Junji HAYASHI
	生物生産システム コース Agroscience Course	生物生産システム 講座 Agroscience	刑部 敬史 Keishi OSAKABE 音井 威重 Takeshige OTOI 濱野 龍夫 Tatsuo HAMANO 森松 文毅 Fumiki MORIMATSU	刑部 祐里子 Yuriko OSAKABE 佐藤 征弥 Masaya SATOH 服部 武文 Takefumi HATTORI 三戸 太郎 Taro MITO 宮脇 克行 Katsuyuki MIYAWAKI 山城 考 Tadashi YAMASHIRO	岡 直宏 Naohiro OKA 橋本 直史 Naoshi HASHIMOTO 山下 聡 Satoshi YAMASHITA	石丸 善康 Yoshiyasu ISHIMARU 谷原 史倫 Fuminori TANIHARA 山田 晃嗣 Koji YAMADA 渡邊 崇人 Takahito WATANABE

常三島事務部

Josanjima General Affairs Division

生物資源産業学部事務課

Administrative Affairs Division of Faculty of Bioscience and Bioindustry

総務係
General Affairs Section

学務係
Student Affairs Section

大学院社会産業理工学研究部

Graduate School of Technology, Industrial and Social Sciences

生物資源産業学域

Division of Bioscience and Bioindustry

学域長 横井川 久己男

Dean Kumio YOKOIGAWA

副学域長 長宗 秀明

Vice Dean Hideaki NAGAMUNE

		教授 Professors	准教授 Associate Professors	講師 Lecturers	助教 Assistant Professors	
大学院社会産業理工学研究部	生物資源産業学域	応用生物資源学 分野 Bioresource Chemistry and Technology	宇都 義浩 Yoshihiro UTO 中村 嘉利 Yoshitoshi NAKAMURA 松木 均 Hitoshi MATSUKI	浅田 元子 Chikako ASADA 佐々木 千鶴 Chizuru SASAKI 玉井 伸岳 Nobutake TAMAI	白井 昭博 Akihiro SHIRAI 山田 久嗣 Hisatsugu YAMADA	後藤 優樹 Masaki GOTO
		応用生命系 Bioengineering	田井 章博 Akihiro TAI 長宗 秀明 Hideaki NAGAMUNE	赤松 徹也 Tetsuya AKAMATSU 友安 俊文 Toshifumi TOMOYASU 三戸 太郎 Taro MITO 山本 圭 Kei YAMAMOTO 湯浅 恵造 Keizo YUASA	田端 厚之 Atsushi TABATA	石丸 善康 Yoshiyasu ISHIMARU 鬼塚 正義 Masayoshi ONITSUKA
	食料科学系 Food Science	食料科学分野 Food Science and Technology	金丸 芳 Kaori KANEMARU 櫻谷 英治 Eiji SAKURADANI 田中 保 Tamotsu TANAKA 横井川 久己男 Kumio YOKOIGAWA	川上 竜巳 Ryushi KAWAKAMI 向井 理恵 Rie MUKAI	岸本 幸治 Koji KISHIMOTO	阪本 鷹行 Takaiku SAKAMOTO 林 順司 Junji HAYASHI
	生物生産系 Agroscience	生物資源 生産科学分野 Bioresource Science and Economics	刑部 敬史 Keishi OSAKABE 音井 威重 Takeshige OTOI 濱野 龍夫 Tatsuo HAMANO 森松 文毅 Fumiki MORIMATSU	刑部 祐里子 Yuriko OSAKABE 佐藤 征弥 Masaya SATOH 服部 武文 Takefumi HATTORI 宮脇 克行 Katsuyuki MIYAWAKI 山城 考 Tadashi YAMASHIRO	岡 直宏 Naohiro OKA 橋本 直史 Naoshi HASHIMOTO 山下 聡 Satoshi YAMASHITA	阿部 成人 Naruhito ABE 谷原 史倫 Fuminori TANIHARA 中井 綾 Aya NAKAI 山田 晃嗣 Koji YAMADA 和田 直樹 Naoki WADA 渡邊 崇人 Takahito WATANABE
	動物生産技術分野			平田 真樹 Maki HIRATA		

学生数 Number of Students

(令和元年5月1日現在)
As of May 1, 2019

生物資源産業学部 Faculty of Bioscience and Bioindustry	入学定員 Enrollment Capacity	収容定員 Admission Capacity	在学者数 students					内訳 Details	
			1年次 1st year	2年次 2nd year	3年次 3rd year	4年次 4th year	計 Total	男 Male	女 Female
生物資源産業学科 Department of Bioscience and Bioindustry	100(2)	400(6)	108	100(2)	102(4)	92	402(6)	182(5)	220(1)

注) () 内は第2年次編入学生を外数で示す。
() denotes number of the 2nd year transfer students.

国際交流 International Exchange

(1) 学術交流協定校

International Academic Exchange Agreements

(令和元年5月1日現在)
As of May 1, 2019

地域 Region	相手大学 Affiliated University	国 Country	区分 Level	締結年月日 Date Concluded
アジア Asia	時事日本語学院 Sisa Academy Co., Ltd.	韓国 Korea	大学間協定 Inter-University	H30.2.22 Feb. 22, 2018
	東國大学校 Dongguk University	韓国 Korea	大学間協定 Inter-University	H31.4.8 Apr. 8, 2019
	広東海洋大学 Guangdong Ocean University	中国 China	部局間協定 Inter-Faculty	H29.11.28 Nov. 28, 2017
	ドンズー日本語学校 Dong Du Japanese Language School	ベトナム Vietnam	大学間協定 Inter-University	H28.1.19 Jan. 19, 2016
	ベトナム国立農業大学 Vietnam National University of Agriculture	ベトナム Vietnam	大学間協定 Inter-University	H28.10.30 Oct. 30, 2016
	ダナン大学 The University of Da Nang	ベトナム Vietnam	大学間協定 Inter-University	H29.3.20 Mar. 20, 2017
南アメリカ South America	パラナ連邦工科大学 Federal University of Technology-Parana	ブラジル Brazil	大学間協定 Inter-University	H29.8.16 Aug. 16, 2017
ヨーロッパ Europe	ミラノ大学 University of Milan	イタリア Italy	大学間協定 Inter-University	H29.11.15 Nov. 15, 2017

(2) 外国人留学生

International Students

(令和元年5月1日現在)
As of May 1, 2019

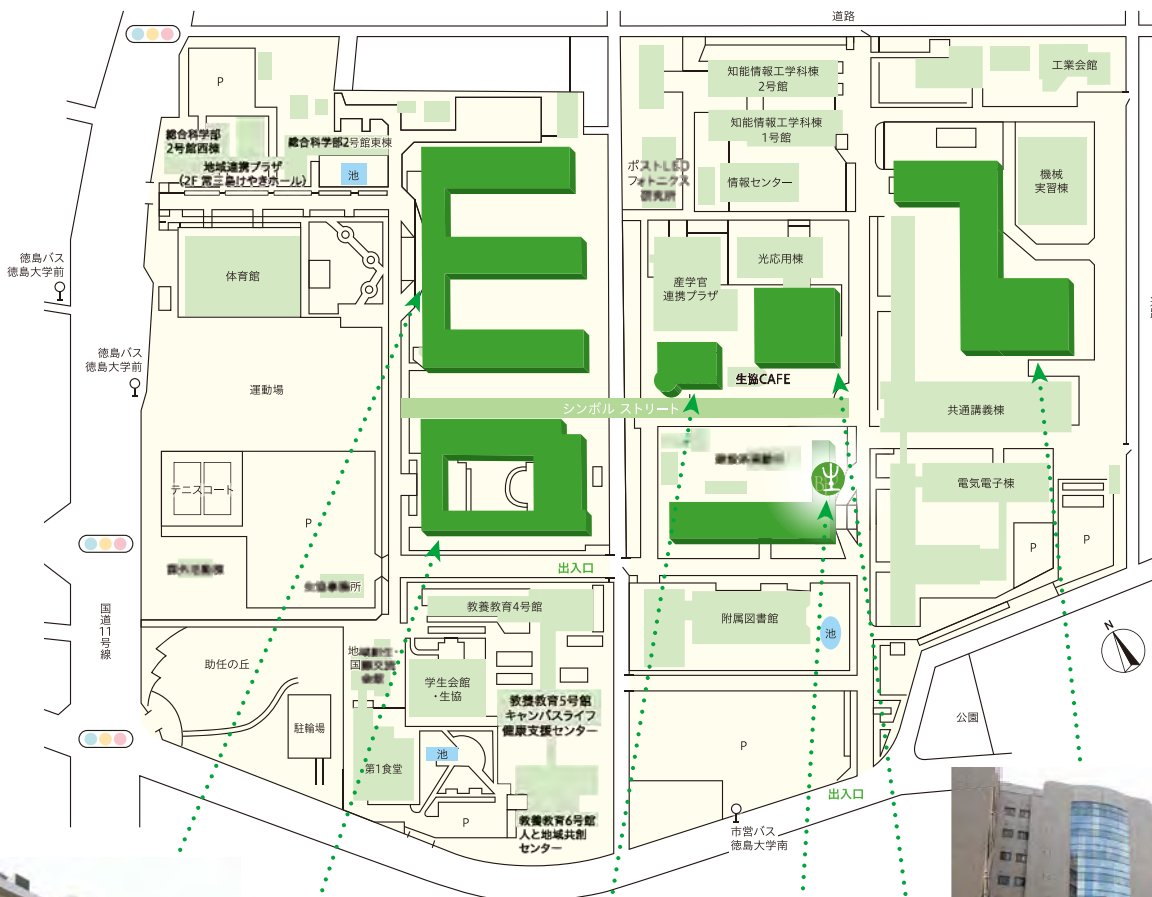
地域 Region	国 Country	学部学生 Undergraduate	研究生等 Research Student	計 Total
アジア Asia	韓国 Korea	1	—	1
	中国 China	—	1	1
	ベトナム Vietnam	4	—	4
計 Total		5	1	6

常三島地区

徳島市南常三島町2丁目1番地

Josanjima Campus

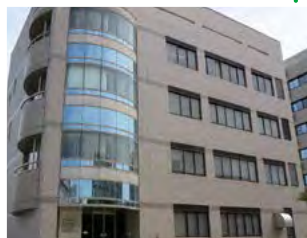
2-1 Minamijosanjima-cho, Tokushima



総合科学部1号館
Building No.1,
Faculty of Integrated Arts and Sciences



総合科学部3号館
Building No.3,
Faculty of Integrated Arts and Sciences



ベンチャービジネス育成研究室
Venture Business Development Laboratory



事務課（建設棟2階）
Administrative affairs Division
(Building for Department of Civil and
Environmental Engineering)



機械棟
Building for Department of Mechanical
Engineering

化学・生物棟
Building for Department of Chemical Science
and Technology and Biological Science and
Technology



総合研究実験棟
Research and Experimentation Laboratories

生物資源産業学部メインキャンパスです。総合科学部や理工学部その他、教養教育院や附属図書館等の多くの附属施設があり、入学後は、多くの時間をこのキャンパスで過ごします。

マップ上にグリーンで示した建物が、生物資源産業学部の教員研究室や実験室等がある建物です。

生物資源産業学部事務課の事務室は、建設棟2階にあります。授業の取り方や各種手続きで困ったことがあれば、お気軽にお越しください。

生物資源産業学部農場

名西郡石井町石井字石井 2272 番地の 2

University Farm, Faculty of Bioscience and Bioindustry

2272-2 Aza Ishii Ishii Ishii-cho, Myozaigun

施設野菜 温室
施設野菜 温室
水田
助産
収納資材庫
便所
砂地畑
駐車場
芝生公園
ガーデン
籾倉
放牧場
竹林

農場事務・研究棟

創薬・医療機器開発施設

農場実習・研究開発棟

生物資源産業学部農場は、約10万 m^2 という広大な敷地を有しており、そこには圃場や果樹園の他に、気温等が管理された屋内の閉鎖空間で作物栽培を行う植物工場や、ブタの品種改良等を行う研究室があり、先進的な研究に取り組んでいます。

学生の皆さんは、生物生産フィールド実習等の実習科目で利用する他、ここで卒業研究を行うこともできます。

また、ブタは解剖学的にヒトに近い部分が多く、外科手術のトレーニング等においても広く利用されており、本学部の農場には、このような手術トレーニング等を行う施設も有しています。

生物資源産業学部水圏教育研究センター

鳴門市瀬戸町堂浦地廻り 壱96 番地の 14

Education and Research Center for Aquascience, Faculty of Bioscience and Bioindustry

96-14 Dourajimawariichi Seto-cho, Naruto

出入口
洗い場
作業場
倉庫
海

水圏教育研究センター

水槽置場

生物資源産業学部水圏教育研究センターでは、主に海藻の養殖や、海藻を用いたアワビ等の養殖技術についての研究を行っており、屋内で様々な環境を再現し、最適な育成環境を探る基礎研究から、屋外水槽における大量養殖技術の検証等の応用研究までを一貫して実施しています。

学生の皆さんは、生物生産フィールド実習等の実習科目で利用する他、ここで卒業研究を行うこともできます。

アドミッション・ポリシー Admission Policy

本学部では、バイオテクノロジーを応用した生物資源の生産、医薬、食品としての有効利用に関連する幅広い知識、国際的に通用する専門性、バイオ産業創出に必要な起業マインドを持った人材の育成を目的としています。

● 求める人物像

関心・意欲・態度

バイオテクノロジー、生命、医療、食料、農業、環境に強い関心と学びに対する意欲があり、自分で明確な目標を持っている人

探 究 力

自分が関心を持ったことを深く掘り下げようとする人

表 現 力

自分が伝えたいことを相手の視点に立って適切に表現できる人

知 識 ・ 教 養

本学部の専門分野を学ぶために、**高等学校等で修得すべき**※理科系・文科系にわたる知識・教養をもつ人

思考力・判断力

今までの知識・教養をもとに思考を深めて適切に判断できる人

協 働 性

問題解決のために、国籍や世代、考え方にとらわれることなく、対等の立場で協力できる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

理科

「化学、化学基礎」「生物、生物基礎」「物理、物理基礎」から2科目以上に渡る内容の理解と、自然環境で起こっている現象やその問題解決に必要な知識・教養。特に、入学後の学修に備えるため、化学に関する科目は実験データの解析力などを踏まえて、着実な修得をはかること。

数学

「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学A」「数学B」における内容の理解と応用力

英語

国際的な専門分野を学ぶために必要な読解力と基礎的な運用能力

国語

様々な文献の読解力と、自分が伝えたいことを表現できる基礎的な文章力

地歴・公民

地歴・公民における基礎的内容の理解



カリキュラムの特長 Curriculum

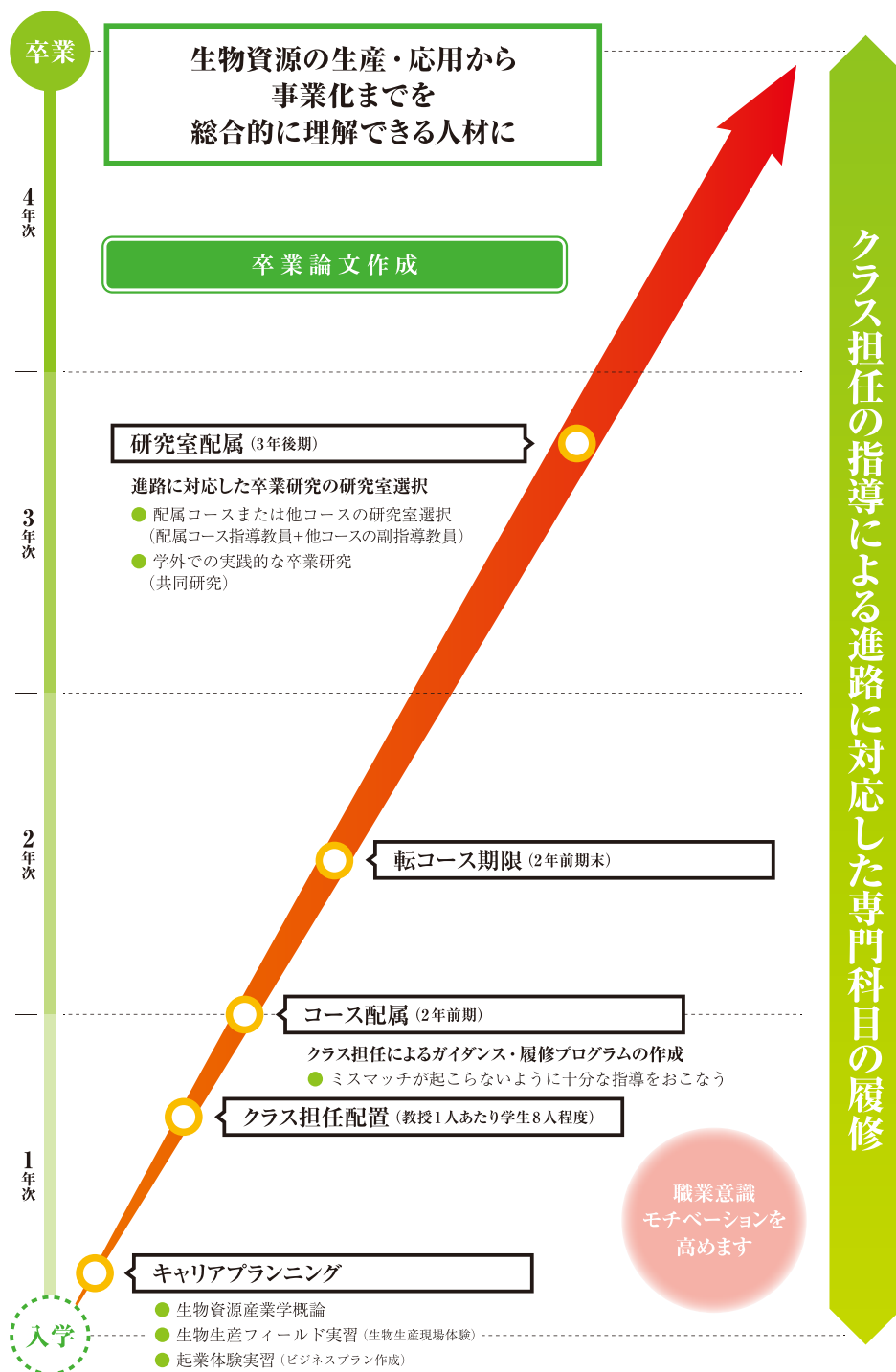
教養教育科目と生物資源に関する基礎知識を学科共通科目によって学んだ上で、2年次からコースに配属し、微生物から動植物に至る広範囲な生物学や生命化学、最先端のバイオテクノロジーや、これらに応用した食品の保存や加工技術・医薬品の開発・生物資源の生産育種技術などの専門科目を学びます。

さらに、ビジネスに必要な経済関連科目や特許及び生物資源に関する法規といった、一般的な農学系学部では比較的学ぶ機会が少なかった科目を学科共通の専門科目として用意しており、商品開発や経営等に必要となる基礎知識を総合的に身につけることができます。

また、社会に出る前に就労現場を体験し、起業マインドを養うため、インターンシップを必修化している点も大きな特長です。(現行のカリキュラムは、変更の可能性があります。)

● コースに関係なく専門性を維持しながら、分野横断的に幅広い知識を修得できます。

● 2年次にコースを選択するので、余裕を持って専門分野を選択でき、就職、進学先も広範囲に選択することができます。



入学者選抜については、学科全体で選抜を実施し、2年前期からコース配属されます。

推薦入試Ⅰ（センター試験を課さない）〈地方創生型〉

定員：8名

区 分	一般枠（農業・工業・商業・水産・総合学科）	地域枠（農業・工業・商業・水産・総合学科）
各枠定員	4名	4名
推薦の要件（抜粋） ※詳細は入学者選抜要項参照	現役のみ（評定平均〈全体〉4.0以上・各校2名まで）	
個別学力検査等 （入学志願者数の状況によっては、書類審査の内容により1次選考を行うことがあります。）	<ul style="list-style-type: none"> ■ 書類審査（300点）：「調査書」「活動報告書」「学びの設計書」 ■ 集団討論（300点） ■ 個人面接（400点）※口頭試問あり 	
総得点	1000点満点	
備考	<p>※一般枠は、全国における高等学校の農業、工業、商業、水産に関する学科又は総合学科を卒業見込みの者を対象。</p> <p>※地域枠は、地方創生に向けた取り組みの一環として、徳島県内における高等学校の農業、工業、商業、水産に関する学科又は総合学科を卒業見込みの者で、大学又は大学院卒業後に徳島県の産業を担うことに強い意欲をもつ者を対象。</p> <p>※高等学校における教科・科目の履修要件は課しません（調査書における学習の記録を参考とします）。</p>	

推薦入試Ⅱ（センター試験を課す）〈主体性・表現力重視型〉

定員：22名

推薦の要件（抜粋） ※詳細は入学者選抜要項参照	現役のみ（評定平均〈理科〉4.0以上・各校人数制限無）	
センター試験（300点）	数 学（100点）：「数学Ⅰ・数学A」「数学Ⅱ・数学B」	
	理 科（100点）：「物理」「化学」「生物」	※2科目を選択
	外国語（100点）：「英語」	
個別学力検査等 1次選考（書類審査：300点／センター試験：300点）	<ul style="list-style-type: none"> ■ 調査書 ■ 学びの設計書 ■ 活動報告書 	300点
個別学力検査等 2次選考（400点）	<ul style="list-style-type: none"> ■ 集団討論 200点 ■ 集団面接 200点 	300点（配点等は、上記のとおり）
総得点	1000点満点（1次選考及び2次選考の総合評価）	
備考	<p>※高等学校における教科・科目の履修要件は課しません（調査書における学習の記録を参考とします）。</p> <p>※センター試験の成績が、全国平均点（大学入試センターが発表する各科目の平均点の合計点）の90%程度に達しない場合は、合格者となり得ません。</p>	

一般入試（前期日程）

定員：50名

項目	科目	点数	科目	備考
センター試験 (550点)	国語	50点	「国語」	
	地歴	50点	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」	※1科目を選択
	公民		「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」	
	数学	150点	「数学I・数学A」「数学II・数学B」	
	理科	150点	「物理」「化学」「生物」	※2科目を選択
	外国語	150点	「英語」	
個別学力検査等 (450点)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 総合問題 300点 ■ 集団面接 150点 			
総得点	1000点満点（センター試験、個別学力検査等の総合評価 ※調査書参考）			

一般入試（後期日程）

定員：20名

項目	科目	点数	科目	備考
センター試験 (700点)	国語	50点	「国語」	
	地歴	50点	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」	※1科目を選択
	公民		「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」	
	数学	200点	「数学I・数学A」「数学II・数学B」	
	理科	200点	「物理」「化学」「生物」	※2科目を選択
	外国語	200点	「英語」	
個別学力検査等 (300点)	■ 総合問題 300点			
総得点	1000点満点（センター試験、個別学力検査等の総合評価 ※調査書参考）			

本誌に掲載している内容は、2020年度（令和2年度）入試^{注1}の内容です。

2021年度（令和3年度）入試より、大学入試センター試験は「大学入学共通テスト」に変更されることとなります。生物資源産業学部においても本誌に掲載の全ての入試（推薦入試、一般入試）について、入学者選抜に変更点があります。詳しくは、徳島大学発行の「2021年度入試 徳島大学入学者選抜における予告について」をご確認ください（本学ホームページから閲覧、または資料請求が可能です）。

注）2020年度（令和2年度）入試は、2019年度（令和元年度）実施となります。

応用生命コース Bioengineering Course

応用生命コースでは、生物学、化学、工学を融合し、最新バイオ技術を駆使して健康、資源、環境等の諸問題を解決するための専門知識や技術を修得することができます。創薬、細胞機能の解明と応用、バイオマス有効利用等により、諸問題を解決できる能力や、開発したバイオテクノロジーを産業へ応用し、バイオベンチャー関連の企業でも活躍できる能力を養成します。

教育の Point!

学科専任教員と製薬、食品製造、醸造に関連する企業からの学外講師による実学もあります。

特長

生命分子や細胞の基礎研究からゲノム工学、細胞工学、微生物工学等の応用研究までの学問分野に関する教育を行い、生物資源からの医薬品開発や候補物質のスクリーニング、培養細胞によるタンパク質医薬品の大量生産等の医薬工連携分野及びバイオエネルギー生産等の研究を重点的に進めています。

進路と 未来予想図

生物工学的アプローチによる生物資源（微生物・培養細胞など）のヘルスサイエンスへの応用、製品化によってバイオ産業の育成と経済の発展に貢献できる人材を養成します。

製薬系企業、化学系企業、発酵醸造業
 自営、食品関連企業（生産・研究・商品
 開発）、医用工学系企業、バイオベン
 チャー企業、公務員、商社など



（腫瘍移植鶏卵に対する抗癌剤の静脈投与）

主な 開講科目

- 生化学
- 分子生物学
- バイオリアクター工学
- 応用発酵学
- 生体高分子学
- 応用微生物学
- 細胞バイオ工学
- バイオマス利用学
- 微生物学
- タンパク質工学
- 創薬学
- 再生医学
- 生物物理化学
- 細胞情報学
- 免疫工学
- 医用工学

教員からの Message



中村 嘉利 教授

現在、我々の社会は、エネルギーや食料不足、環境汚染、癌やエイズなど多くの難問を抱えています。応用生命コースでは、これらの問題を解決するために、遺伝子操作などのバイオテクノロジーを駆使した新しい生物の創造や有用物質の大量生産、新材料（バイオマテリアル）の製造などに代表される新しい科学技術の開発に取り組んでいます。

食料科学コース Food Science Course

食料科学コースでは、最新バイオ技術を駆使して食料、健康、資源、環境の諸問題を解決するための専門知識、技術を修得することができます。微生物機能の利用、機能食品の開発、フードビジネスに関する教育を進め、農学、工学、医学、栄養学及び薬学的見地から新しい安全な食品開発と産業化に貢献する能力を養成します。

教育の Point!

食料科学の知識と技術について、農芸化学、食品・栄養化学、生物工学、歯学・薬学などを専門分野とする専任教員で教育研究を行い、実学は地元企業の協力を得て進めています。

特長

安全な食料の効率的生産による安定供給と機能食品開発に貢献できる能力の育成を目的として、農学、工学、医学、栄養学、薬学的アプローチによる食品の加工・保蔵、機能、安全、栄養、未利用生物資源開発に関する教育研究を製品開発や販売戦略等も含めて行います。

進路と 未来予想図

栄養・健康の観点から生物資源を捉え、食料問題の解決、有用成分の発見と機能食品開発によって食品産業の育成と経済の発展に貢献できる人材を養成します。

食品関連企業（生産・研究・商品開発）、
バイオベンチャー企業、食品流通業、
サービス業、製薬系企業、化学系企業、
農林水産業団体職員、公務員、商社、
フードビジネス自営、発酵醸造業自営

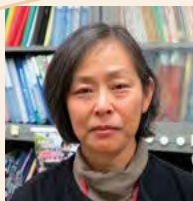


(アミノ基転移酵素の活性測定)

主な 開講科目

- 天然物化学
- 食品・栄養学概論
- バイオアセスメント学
- 食品加工保蔵学
- 遺伝子資源利用学
- 食品微生物学
- 機能食品学
- 酵素化学
- 食品衛生学
- 栄養生理学
- ビタミン学
- 食と漢方
- 食品アレルギー学
- 味覚サイエンス
- 病態栄養学
- 発酵醸造学

教員からの Message



金丸 芳 教授

食料科学コースでは食品産業で活躍できる人材を教育しています。食品の安全性、栄養性、機能性に対する知識や技術、微生物や食品の機能と利用、生物資源の活用技術、食品加工保蔵の技術などが習得でき、食品衛生監視員の資格が取得できます。食と健康、食の大切さを重視して、美味しい・体に良い・安全な食品を開発提供することや、食品に関わる研究に携わることを通じて、社会貢献したいと望む方に学んで頂きたいコースです。

生物生産システムコース Agroscience Course

生物生産システムコースでは、先端的作物生産、家畜繁殖、育種工学、植物工場、資源増殖の教育研究を製品開発や販売戦略等も含めて行い、安全な生物資源の安定供給に関わる諸問題について多面的観点から解決法を探究し、生産性の高い持続的一次産業を構築するための知識・技術力を修得します。また、生産生態系の保全を通して、農山漁村の多面的機能についても学び、一次産業の後継者教育を養成します。

教育の Point!

徳島県下自治体、徳島県立農林水産総合技術支援センターと連携しながら、附属施設にてフィールドワークを行います。

特長

植物工場に代表される先端技術を利用した生物生産システム、生物が本来有する遺伝子による品種改良、生産生態系における資源管理手法や増殖技術、高付加価値を有する動植物の開発と種苗生産、フードシステムの基本的理解に基づく市場ニーズの動向を的確に捉えた販売戦略の企画力について教育します。

進路と 未来予想図

農工連携による生物資源の生産管理システム、育種・品種改良、資源の高機能化によって一次産業を発展させ、地域社会・経済の活性化に貢献できる人材を養成します。

アグリビジネス自営、植物工場システムエンジニア、農業自営、農林水産技術者、畜産技術者、地域おこしを目的としたNPOの職員、農林水産業団体職員、公務員、食品関連企業(生産・研究・商品開発)、食品流通業、商社



(茎頂培養法で作製したイチゴ苗の植物工場水耕栽培棚への定植)

主な 開講科目

- 植物生理学
- 森林科学
- 植物病理学
- 水産資源学
- フィールド環境生態学
- 動物生産科学
- 森林代謝学
- 家畜繁殖学
- 植物学総論
- 水圏生産科学
- 応用昆虫学
- 植物細胞工学
- グローバル生産環境論
- 栽培育種工学
- 植物環境応答生理学
- 生産環境制御システム論

教員からの Message



音井 威重 教授

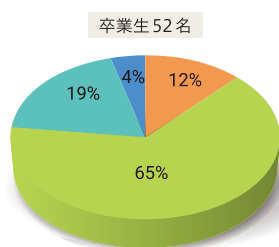
本コースは旧名称でいうと農学科に相当しますが、3年次前期までは他大学では見られない農林畜産学部的な広い教育を特徴としています。本コースの教員は、常三島キャンパス(徳島市)、石井キャンパス(農場:名西郡)、新野キャンパス(阿南市)、水圏教育研究センター(鳴門市)にそれぞれ分かれて研究室を持っており、3年次後期からの研究室配属後は希望する分野を深く学習・探究するようになります。

卒業生の進路状況 (平成28年度～平成30年度)

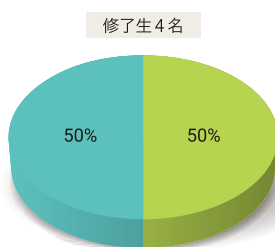
生物資源産業学部の前身である総合科学部社会創生学科環境共生コース（一部）及び工学部生物工学科の統計を掲載しています。
※「公務員」に「国立大学法人」を含み、「その他」に非公開者を含む

総合科学部社会創生学科環境共生コース・大学院総合科学教育部地域科学専攻環境共生分野

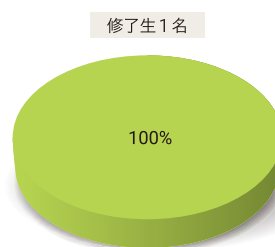
○学部生



○大学院生 (博士前期課程)

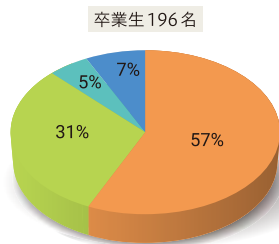


○大学院生 (博士後期課程)

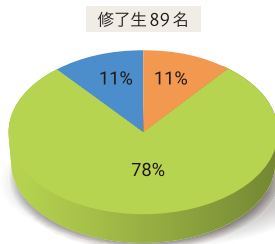


工学部生物工学科・大学院先端技術科学教育部生命テクノサイエンスコース

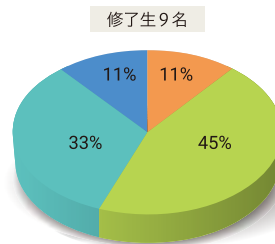
○学部生



○大学院生 (博士前期課程)



○大学院生 (博士後期課程)



卒業生の就職先 (平成28年度～平成30年度)

総合科学部社会創生学科環境共生コース・大学院総合科学教育部地域科学専攻環境共生分野

○学部生

(株)阿波銀行、岡山県公立学校教員(中学・理科)、(株)さなる(塾)、シティハウジング(株)、東京海上日動火災保険(株)、(株)トーカイ、徳島信用金庫、徳島県信用農業協同組合連合会(JAバンク徳島信連)、特別区(23区)、(株)ナックスナカムラ、坂東産機(株)、日新製鋼(株)、久光製薬(株)、(株)フレイン、美馬市役所、和歌山市役所、(株)朝日通商、(株)伊予銀行、(株)NSD、愛媛県(学校事務)、(株)京進、国立高専機構 明石高等専門学校(事務)、さくらホーム(株)、住友林業(株)、バンドー化学(株)、(社)眉山園、(株)富士クリーン、(医)平成会 山内病院、和歌山県警察(警察事務)、日亜化学工業(株)、(株)アベックス、(株)ポオトデリカト オカツ、シノブフーズ(株)、大西物流(株)、(株)M&Cサポート薬局、香川県農業協同組合(JA香川県)、日本水処理工業(株)、日本郵便(株)(地域基幹職)、(株)ヨックモック、あいおいニッセイ同和損害保険(株)、富士産業(株)、国税庁 大阪国税局(国税専門官)、広島県庁

○大学院生

徳島県庁、美波町役場、四国大学短期大学部、(株)環境防災、(有)味源

卒業生の就職先（平成28年度～平成30年度）

工学部生物工学科・大学院先端技術科学教育部生命テクノサイエンスコース

○学部生

尼崎信用金庫、(株)MJE、大正富山医薬品(株)、大塚倉庫(株)、大塚製薬(株)、香川県庁、(株)神戸屋、(株)さかえ、四国化工機(株)、JA西日本くみあい飼料(株)、大鵬薬品工業(株)、第一生命保険(株)、大東建託(株)、長生堂製薬(株)、帝国製薬(株)、東洋ビルメンテナンス(株)、(株)徳島銀行、徳島県庁、徳島県国民健康保険団体連合会、徳島大学、徳島大学生協、日亜化学工業(株)、ビオフェルミン製薬(株)、(株)マルハ物産、マルホ(株)、ヤング開発(株)、(株)ユタックス、ユニ・チャームプロダクツ(株)、アドバンテック(株)、(株)オージック、(株)コンベンションリンクエージ、サンスター(株)、(株)四国中検、JCRファーマ(株)、全星薬品工業(株)、大和証券(株)、東洋製薬化成(株)、(一社)徳島県医師会、野村証券(株)、(株)ハレルヤ、(一財)阪大微生物病研究会、名糖産業(株)、(株)ゆうちょ銀行、青木油脂工業(株)、阿波市役所、イーピーエス(株)、大塚テクノ(株)、ナミコー(株)、パレクセル・インターナショナル(株)、山中産業(株)、(株)イシイフーズ、(株)大阪合成有機化学研究所、(株)大塚製薬工場、(株)コスモビューティー、(株)ピカソ美化学研究所、(株)ニチレイフレッシュ、国土交通省四国運輸局、美馬市役所、和歌山市役所

○大学院生

アステラス製薬(株)、阿波製紙(株)、イーピーエス(株)、(株)今里食品、(株)大塚製薬工場、大塚製薬(株)、協和発酵キリン(株)、クノール食品(株)、(株)湖池屋、神戸大学、田辺三菱製薬工場(株)、中外製薬工業(株)、長生堂製薬(株)、東洋ビューティ(株)、東和薬品(株)、(一社)徳島県薬剤師会、徳島大学、富田製薬(株)、ニッシン・グルメビーフ(株)、白鶴酒造(株)、パレクセルインターナショナル(株)、(一財)阪大微生物病研究会、HUYAバイオサイエンスインターナショナル(株)、(株)マキタ、勇心酒造(株)、和光純薬工業(株)、アース製薬(株)、岡谷銅機(株)、協和化学工業(株)、コスモ・バイオ(株)、サミー(株)、塩野義製薬(株)、シオノギテクノアドバンスリサーチ(株)、四国旅客鉄道(株)(JR四国)、住友ゴム工業(株)、タカナシ乳業(株)、武田薬品工業(株)、日本臓器製薬(株)、ノバルティスファーマ(株)、ハカルプラス(株)、浜理薬品工業(株)、福助工業(株)、富士紡ホールディングス(株)、藤本製薬グループ、(株)マイクロン、(株)ヤクルト本社、野洲メディカルイメージテクノロジー(株)、WDB工学(株)、エイターヘルスケア(株)、サンスター(株)、四国化工機(株)、大鵬薬品工業(株)、日亜化学工業(株)、不二製油(株)、マルホ(株)、万田発酵(株)、(株)LSIメディエンス、(株)埼玉原種育成会、(株)セイバン、(株)兵庫分析センター、(株)リブドゥコーポレーション、(株)武蔵野化学研究所、植田製油(株)、日本製紙パピリア(株)、アルフレッサファーマ(株)

取得できる資格・受験資格 Licenses

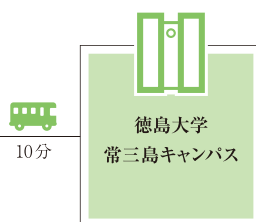
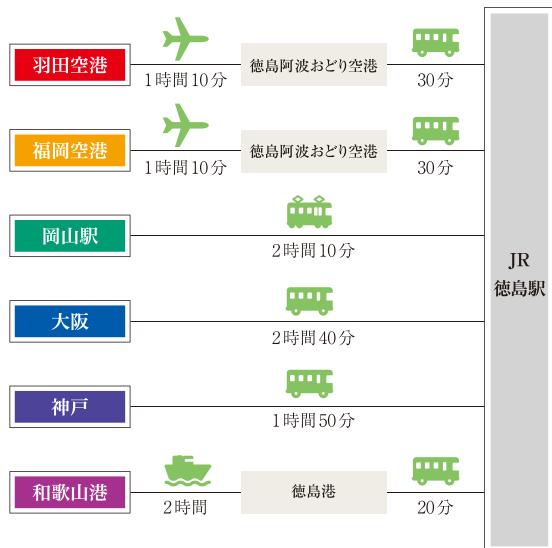
資格の名称	国家資格	民間資格	備考
食品衛生管理者・食品衛生監視員	○		資格取得が可能
食の6次産業化プロデューサー（レベル3）	○		資格取得が可能
上級バイオ技術者		○	受験資格の取得が可能

徳島大学生物資源産業学部

〒770-8513 徳島県徳島市南常三島町2丁目1番地

生物資源産業学部事務課

常三島地区建設棟2階
Tel 088-656-8019 [総務係]
Tel 088-656-8021 [学務係]
Fax 088-656-8029

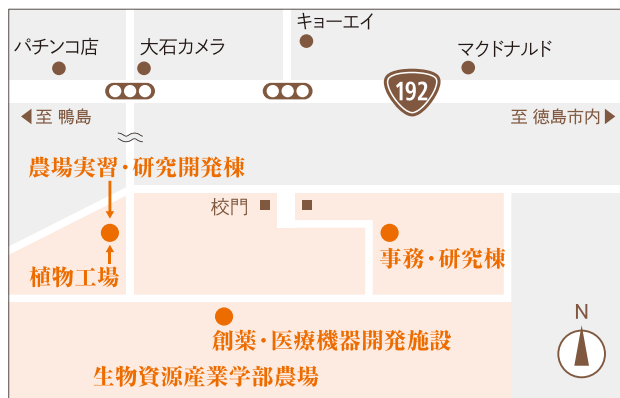


徳島駅から
徳島大学常三島キャンパスまで

- 【5番のりば】**
路線番号5 商業高校行(南常三島)
「徳島大学前」下車
- 路線番号6 島田石橋行「助任橋」下車
路線番号31 中央循環左回り「助任橋」下車
- 【6番のりば】**
路線番号3 中央市場行「助任橋」下車
路線番号32 東部循環右回り「助任橋」下車
- 【7番のりば】**
川内循環左回り「助任橋」下車

生物資源産業学部農場

〒779-3233 徳島県名西郡石井町石井字石井2272番地の2
Tel 088-635-0796



生物資源産業学部水圏教育研究センター

〒771-0361 徳島県鳴門市瀬戸町堂浦地廻り壱96番地の14
Tel 088-683-7027





発行 徳島大学生物資源産業学部

発行月 令和元年7月